

J R 東海 労 申 第 1 9 号
2 0 2 0 年 1 1 月 1 1 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海 労働 組合
中央執行委員長 木下 和樹

2 0 2 0 年 度 年 末 手 当 の 支 給 に 関 す る 再 申 し 入 れ

会社は11月11日、2020年度年末手当の支給について回答をしたが、その内容はJ R 東海 労 の 要 求 を 大 き く 下 回 る も の で あ り 、 職 場 で 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 に 感 染 す る リ ス ク を 負 い な が ら 、 汗 水 垂 ら し て 働 く 社 員 の 苦 労 に ま た ぞ ろ 応 え ない 姿 勢 を 示 し た。

会社の業績は、第2四半期決算においても会社発足以降初めての赤字経営になったが、会社は健全経営と言って中央新幹線建設を進めている。健全経営であるならば、最低限、会社側が今まで言ってきた「安定的支給ベースの2.9ヶ月」以上支給すべきである

現在、利用状況が回復傾向にあることは会社も認めている。それは、安全安定輸送を支える、職場で働く社員や家族の苦労や支えがあつてのことである。しかし会社は、職場で働く社員の苦労に答えることなく、会社の利益と貯蓄ばかりを追う姿勢である。

本日会社は、組合の要求とかけ離れた回答を行った。このような会社の姿勢に組合員はもとより、職場で働く社員のモチベーションは下がり、そして転職を考える社員が後を絶たない状況を引き起こしている。

このような状況を克服するためには、会社がコロナ禍の中で命をかけて働いている社員の苦労に実をもって応えるしかないと考える。

従って、下記の通り2020年度年末手当の支給について再度申し入れるので早急に団体交渉を開催し誠意をもって回答すること。

記

1. 今回の年末手当の回答を撤回し、J R 東海 労 の 要 求 通 り 3. 5 ヶ 月 分 の 年 末 手 当 、 及 び 、 専 任 社 員 に は さ ら に 年 末 手 当 と は 別 に 5 0 , 0 0 0 円 を 支 給 す る こ と。

以 上